

ぎかい



2016.10.17

小国町議会だより 第130号

小国町指定
無形民族文化財
「舟渡獅子踊り」
H28.9.11(日)



表紙関連記事は
16ページに

平成27年度 決算を認定

主な内容

- 決算審査特別委員会
- 一般質問5名登壇
- シリーズ1 若者は今

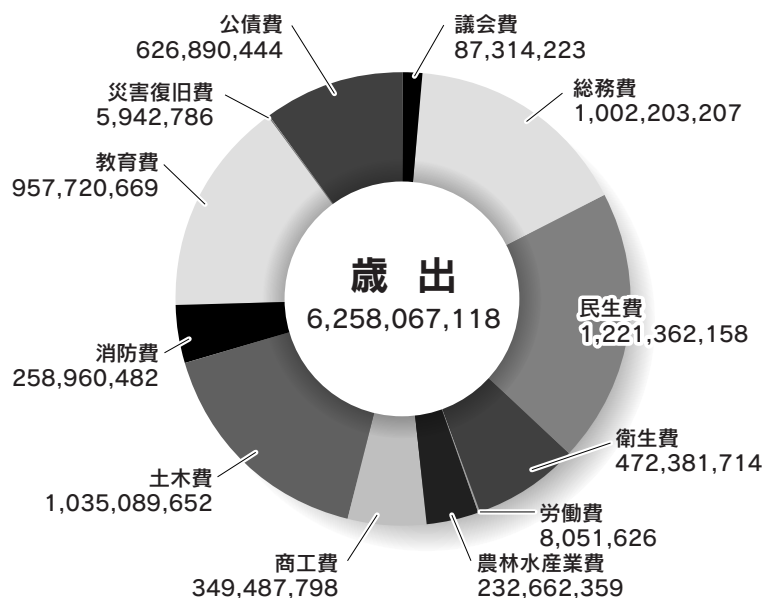
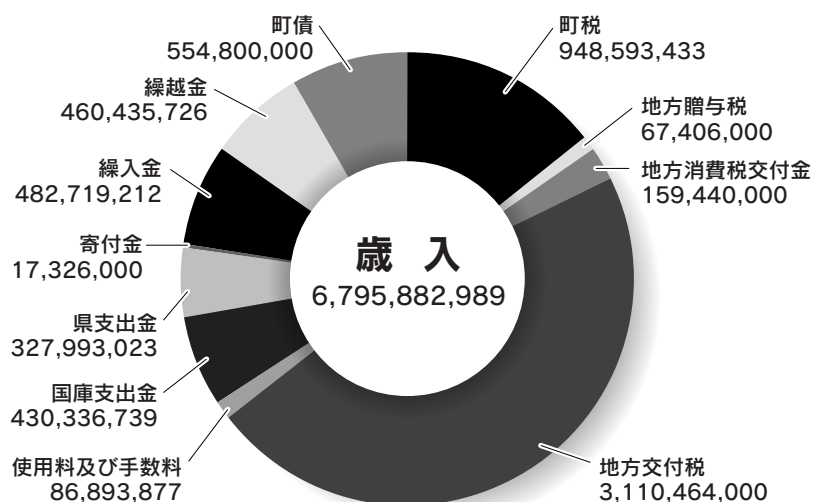
どう使われたか

9月定例会

9月8日(木)～9月20日(火)

平成27年度 歳入と歳出

(単位：円)



本会議の様様(録画)は、議会HPで公開しております。
詳細はそちらでご覧いただけます。
ホームページ <http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html>

9月定例会は、9月8日(木)より13日間の日程で開かれた。
27年度各会計決算、28年度一般会計補正予算、特別会計、病院事業会計の補正予算、財産の取得、人事など24件が審議され原案のとおり可決した。
なお、27年度各会計決算は、決算審査特別委員会に付託され慎重な審議が行われた後、本会議において全員賛成で承認された。請願は、5件提出され、1件を採択し、4件を継続審査とした。
一般質問は、5名の議員が行い、当面する諸問題を町長に質問した。



決算審査特別委員会

一般会計補正予算

総額1億7904万4千円の追加補正を可決。

*小国町地球温暖化対策実行計画

*おくに保育園灯油循環設備修繕経費

*農業生産協働作業支援

*農業機械・設備等導入経費支援

*狩猟免許新規取得助成事業

*簡易リフト更新経費

*石楠花展示小屋修繕経費

*除雪機械修繕経費

*スクールバス冬タイヤ更新

*その他

介護保険特別会計補正予算

*個人番号制度導入システム改修経費

*居宅介護住宅改修追加所要額

老人保健施設事業会計補正予算

*冷暖房設備更新

下水道事業特別会計補正予算

*消費税納付額所要額

平成27年度決算 貴重な財源は

◆平成27年度一般会計決算（26年度対比）

一般会計内訳	27年度歳出額(円)	26年度歳出額(円)	前年度比(%)
議会費	87,314,223	83,411,038	104.7
総務費	1,002,203,207	899,513,261	111.4
民生費	1,221,362,158	1,282,698,294	95.2
衛生費	472,381,714	484,788,458	97.4
労働費	8,051,626	28,024,768	28.7
農林水産費	232,662,359	262,314,825	88.7
商工費	349,487,798	362,481,860	96.4
土木費	1,035,089,652	1,365,244,528	75.8
消防費	258,960,482	278,716,005	92.9
教育費	957,720,669	493,692,315	194.0
災害復旧費	5,942,786	10,577,734	56.2
公債費	626,890,444	628,734,701	99.7
合計	6,258,067,118	6,180,197,787	101.3

*平成27年度一般会計決算は、歳入決算額 6,795,882千円、歳出決算額 6,258,067千円で歳入歳出差引残高は、537,815千円となった。

平成27年度特別会計決算

事業名	歳入決算額(円)	歳出決算額(円)	差引残高(円)
簡易水道事業特別会計	53,001,007	17,609,882	35,391,125
国民健康保険事業特別会計	977,808,230	896,590,897	81,217,333
部落有財産特別会計	110,635,704	3,554,381	107,081,323
下水道事業特別会計	382,203,687	373,025,734	9,177,953
訪問看護特別会計	79,086,052	78,131,734	954,318
介護保険特別会計	973,266,756	949,893,719	23,373,037
後期高齢者医療特別会計	98,671,393	91,764,290	6,907,103

*特別会計における一般会計繰入金（部落有財産特別会計を除く）は、6会計合計で429,527千円となり、前年度と比べ3,931千円、0.9%の増額となっている。

平成27年度各企業会計決算

事業名	事業収益(円)	事業費用(円)	純利益(円)
病院事業会計	963,210,310	1,068,049,920	△104,839,610
水道事業会計	92,082,757	75,762,135	16,320,622
工業用水事業会計	113,071,097	103,381,016	9,690,081
老人保健施設事業会計	334,393,077	322,698,809	11,694,268

*企業会計では、3企業で利益計上となっているが、病院事業会計では、前年度の約2倍の損失を計上する事となった。しかしながら、4事業に対する一般会計からの繰入金合計は、430,682千円で前年度と比べ55,926千円、11.5%の減額となった。

人事案件

○教育委員会委員

推薦について適任と認め、
新任、及び、再任に同意した。

佐藤 健治郎（新任）

柴田 伸也（再任）

東原 小国小坂町

○人権擁護委員

推薦について意見を求められ、
適任と認めた。

小嶋 克浩（新任）
小国小坂町

臨時議会

平成28年8月9日（火）
町道松岡黒沢峠線黒沢橋
上部工事請負契約の締結について可決した。

工期 平成29年3月24日

契約金額

8089万2千円

契約の相手方

福島県郡山市

矢田工業株式会社

代表取締役

成田 正樹

総務企画課

Q ふるさと納税の返礼品は、今後増やしていくのか。

A 現在は、米沢牛・酒・特産品のセットが中心だが今後は、町内の特産品を中心に増やしていきたい。

Q ふるさと納税の返礼品は、物産振興にもなっているが、返礼品のリピートはあったのか。また情報発信は、どのようにしているのか。

A リピートに関しては分析をしていない。情報発信の方法としては、寄附に対する礼状と一緒に町の観光パンフレットを同封している。今後、物産品のカタログ等の送付も検討していきたい。

Q ふるさと納税額、1730万円に対して返礼品に870万ほどかかっているが、残りの860万は、どのよ

うな使い方をしているか。

A 現在は、一般財源として活用をしている。今後、基金の設定も含めて使途の明確化も検討していく。

Q チップボイラーの焼却灰の処理に58万円ほどかかっているが、土壌改良等に利用できないのか。

A これまでは、六価クロムが検出されていたが27年度の成分検査では基準値を上回る鉛が検出されたため業者に依頼し処分した。原因は、現在のところ、はつきりしていない。

町民税務課

Q 生ごみ肥料堆肥化事業の成果はあったのか。

A 町中心部における生ごみの堆肥化を推進し、ごみの減量化をすすめた。3農家・45世帯・2つの保育園の組み合わせで生ごみの回収と堆肥化事業を実施した。

栽培された野菜等は保育園での食材に利用し、町内2か所の販売店で販売された。

生ごみの減量化につながった。



生ごみにほかしを加え搬出

Q 地域公共交通再編事業の課題は何か。

A 人口減少に伴い主要幹線の路線バス、循環バス、デマンドタクシーの運行にスクールバスの運行が加わり、乗客数の減少が一部でみられた。

また、周辺地区の北部・東部ではバス停までの距離が遠い等、住民の足を確保するための新たな課題がある。解決策として空白地有償の提案を受け沖庭と北部地区で検討を行った。

産業振興課

Q 企業誘致について

何年も前から、働く場が無いと言われていて、企業誘致について、1回だけの取り組みで来てくれる企業があるのか。

A 予算計上している部分では、都市部の企業事業所へのPR活動を行ってきた。

情報化時代の現在、当町の自然環境を活用できる企業からのオフアがあるように目指しているが、結果としては誘致には至っていない。引き続き、様々な手段、手法をもって企業誘致に取り組む。

Q 「自然水」商品化について試作品の段階から前進して、28年度は本格的に対応できれば好ましいと思うが、どうなっているか。

A おぐに白い森(株)が商品化を行った。その過程では、製造コストの

面で厳しい状況であった。試作した分は、各交流施設等でPR商品として試供している。

今後、こういった形で商品化を進めていくことができるのか検討している、と事業実施主体からの報告をうけている。



試作段階の自然水

Q つる細工生産施設整備の支出があつたが、今後の販路開拓の展開も見据えているのか。

A つる細工はミラノ万博にも出品した。今後6次産業化の戦略の中で位置づけをしなが、支援していく。

地域整備課

Q 町営住宅(幸町団地)の管理状況と今後の対応について。

A 必要な維持補修、空き地の除草等の管理を行っている。居住者の意向を踏まえつつ、空棟になれば解体していく。

Q 住宅リフォーム総合支援事業の状況は。

A 利用者には大変好評であり、事業の目的である住宅環境の向上と経済効果にも結びついている。

教育委員会

Q 旧小国中学校寄宿舎「やまなみ寮」の劣化に伴う対応は今後どのようにしていくのか。

A 物理的劣化が激しく、取り壊す方向で検討している。

Q 白い森学習センターで委託している高校生対象の「学立会」事業についての成果はどうなっているか。

A 大学進学希望者を対象としているが、今年

健康福祉課

度は英語を重点的に学習している。高校側の要望に添って実施しており、一定の成果はあるものと思う。

Q 保育園での英語ふれあい事業は、何のために行っているか。また、その効果検証は、行っているのか。

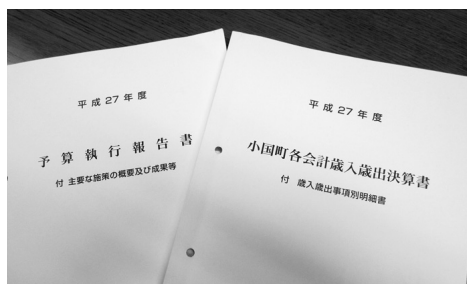
あい事業は、何のために行っているか。また、その効果検証は、行っているのか。

A 楽しく遊びながら英語にふれあい豊かな感性を育てる事を目的としている。毎年、検証は行っている。現在、小学校1年生から英語の授業が始まっており、英語ふれあい事業を受けた子供達は、ALTと違和感なく自然に接する事が出来ているようだ。

まいるにやさしい住まいづくり助成事業は、地域整備課が行っている住宅リフォーム総合支援事業とどう違うのか。

Q 暮らしにやさしい住まいづくり助成事業は、地域整備課が行っている住宅リフォーム総合支援事業とどう違うのか。

A 住宅リフォーム事業



町立病院

は、エコ対策や今後の介護予防リフォームに活用できるが、健康福祉課の暮らしにやさしい住まいづくり助成事業は、現在、介護を必要としている人を対象として審査を行ない、要件に該当した人が利用できる事業である。

Q 病院事業損益計算書

によれば、当年度の損失額が1億円強であるが、一般会計からの3億円の繰入れをした上で数字なのか。その通りだ。

決算審査特別委員会報告書

9月8日、本委員会に付託された平成27年度の小国町各会計の決算審査について、9日、12日及び13日の3日間にわたり関係課長等の出席を求め審査を行った。

少子高齢化と人口減少に歯止めのかからない本町における町民福祉の増進には、これまで以上に担当課を超えた組織間連携による有効的、効率的な施策の展開による予算執行が望まれる。

是非、町民目線で各課連携の仕組みを構築され、町民に示されたい。

平成27年度の各会計12件については、次の意見を付し、認定すべきものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により報告する。

- 1 町有財産全般に渡りその維持管理経費の節減に努められたい。廃校舎の利活用については、その方向性を早急に町民に示されたい。
- 2 地域資源活用型産業創出事業における「自然水」の商品化に向けた補助事業については、一過性の試行品製造で終わることなく効果が発揮されるよう指導に努められたい。
- 3 ミラノ国際博覧会出展参加の目的の一つ「人材の育成」にあっては、六次産業化推進の上での重要なファクターとされる。一貫性をもった今後の取組みを強く望む。
- 4 環境対策事業における生ごみの堆肥化事業及び農業の多面的機能支払事業の取組みは、目標数値を明らかにし事業評価されており、官民協働、一体としての努力が成果を生んでいる、有効性のある予算執行と評価できる。
- 5 保育園英語ふれあい事業は、次代を担うグローバルな人材の育成という観点から効果的な施策と評価できる。今後の展開手法として教育機関との連携による一体的な取組みを期待する。
- 6 税収が伸び悩む財政運営の中、各課においては前例踏襲に陥ることなく、しっかりと事業評価に基づく予算執行を強く望む。

平成28年9月20日

決算審査特別委員会委員長 遠藤和彦

小国町議会議長 高野健人 殿

人工透析の今後の予定は



こ せき かず よし
小 関 和 好 議員

**透析治療への考えと
進捗状況は**

どうなっているか

小関 私は、年々増加している透析患者の生命を地域で繋いでいくことこそ地域医療の基本であると考えている。

ましてや、当町のような国道1本で繋がれている地理的条件の悪いところでは、非常に重要な医療行為である。

仁科町長の透析治療に対する考えと今後の予定を伺いたい。

見直しの方向で検討

町長 人工透析については、町立病院長および関係職員から段階的に説明を受けた。

人工透析の実施に向けて、病院内の施設整備の実施の目途を判断すべき時期に至っている中で病院長の説明では、現場としては未だ不安を払拭できない状況だという事である。

こうした中で透析治療を行う事は、難しいと考える。

私としては、町立病院での透析治療の実施は見直しの方向で検討していきたいと考えている。そこで三つの観点から人工透析の是非について検証を行っていききたい。

1、医療安全の観点から医療現場の意見の集約を図る。

2、町立病院内の医療従事者関連の不安等の観点からの検証。

3、病院全体の短期・中期・長期的な経営面での検証。

なお、早い時期に患者の皆様と意見交換を行いながら送迎体制を並行して整え、年度内の早期に実施していきたい。

**町長が替わったから
と言って3月議会で
議決した事実は変
わらない**

小関 町外5か所に24人の方が週3回、事故・天



小国町民の「命の道」国道113号線

候・健康等の不安を抱え、台風の日も大雪の日も往復3時間もかけて通院している。

町長が替わったからと言って3月議会で議決した生命に関わる事を変更したり延期したりするべきではないと考える。

透析治療が実施されれば患者の方々やその家族、多くの方々が救われる。誰も困る人はいないと考えるが町長個人としての考えはどうか。

**三つの観点で
検証していく**

町長 繰り返しになるが、三つの観点から人工透析の是非について検証していきたいと考えている。

**町長個人の実施に
向けた考えは**

小関 実施する気持ちがあるのか無いのか、町長個人の人工透析治療に関する考えを聞きたい。

**現場の意見を
尊重する**

町長 医療行為であるので現場の病院長の意見を尊重する。

**町長は、
町民の親も同然**

小関 町民からすれば、町長は、親も同然の存在と考える。苦しんでいる子供がいるのであれば、助けてやるのが親の務めと考えるが、どうしても見直すつもりか。

**急ぎ話し合いの
場を持つ**

町長 まだ、患者の会とは、話し合っていないので可及的速やかに話し合いの機会を持てるように指示を出している。

小関 早々に患者の大変な状況を聞いていただき、よりよい方に見直しをかけていただき小国町での透析治療が実施される事を希望する。



小国町人口ビジョン・地域創生総合戦略の事業進捗状況について

いしやま くみこ
石山久美子 議員

石山 平成27年10月に策定された、「小国町地域創生総合戦略」光り輝く未来への希望をつなぐ「白い森の国 おぐに幸せづくりプラン」として計画内容が示されたが、事業の具体的な取組状況について伺う。

町長 本町の総合戦略では、人口減少に対応するため三つの戦略プロジェクト

「若い世代のしごとづくりと子育て支援の充実」「移住・交流促進プログラムの推進」「多様な主体による協働・交流・連携のまちづくりの展開」を掲げ各施策を展開しているとの報告を受けている。

戦略プロジェクトにかかわる事業として、子育て支援の充実と医療費無料化の拡大、Uターン促進に向けた情報収集、外部機関や外部人財との連携による地域づくりな

どが展開されている。

一年を経過して 見えてきた課題

国では

「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」

の「新・三本の矢」の実現を目的とする「一億総活躍社会」に取り組んでいる。

国が目指す地方創生にかかる政策がオーダー制からメニュー制へと変わりつつあることから、財源の確保や体制の整備に事業の状況に応じて適切・果敢に対応する事が求められている。

また、総合戦略ではKPI（重要業績評価指標）を設定し、成果、目標を明確にした取り組みを進めることとしている。そのための現状の把握、状況分析・解決策の整理などを含め、目標管理を行いながら事業を進める面で不足していると

ころがある。数字だけにとらわれることなく、目に見えにくいものも成果としてとらえていく姿勢も大切である。

取り組みの過程を重視し、課題を庁内で共有し解決に向けた整理を進めていく。

町づくりの施策を効果的に展開するためには、より一層の町民参加を進める必要がある。

透明性の確保と町民とともに町づくりに力を注いでいきたい。

協働と連携と交流 による新たな仕組み づくりの成果

町内六つの地域づくり基盤に基づく地域づくりが展開されている。

さらに、新たな地域コミュニティづくりの方向である「小さな拠点」づくりが小玉川地区や北部地区で展開され、本年度はさらに地域を広げて取り組んでいくと説明を受

けている。

継続的な取り組みにより、外部の視点による地域資源や地域の魅力の再発見、その情報発信など新たな地域づくりに向けた基礎の構築に結び付いているとのことだった。

今後に向けて

現在も展開されている若者が中心になったイベントの促進、元気な高齢者の役割。生きがいづくり、地域づくりの強化、外部人財による町づくり活動の促進など、多様な人々による協働・交流・連携のさらなる強化に取り組んでいく。

石山 様々な総合戦略事業の取り組み状況が町民に伝わってこない。

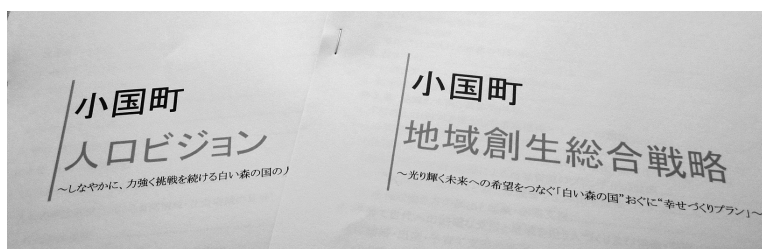
「広報おぐに」やホームページにわかりやすい画面と記事で掲載してほしい。

また、さまざまな会議や事業の挨拶や報告で説

明するなど、考えはあるのか。

町長 透明性をもたせ、情報公開や進捗状況を積極的に進めたい。

企画財政主幹 情報の発信を分かりやすくするため、ビデオ作成したものを有効に活用するなど、力を入れていきたい。



「おぐに町づくり」指針を策定

まちづくりは 情報の公開、町民参加で



こばやし よしみ
小林 嘉 議員

まるごとブランドとは

小林 これまでもブランド化はアプローチしてきたが、大きな雇用を生み出すに至っていない。「まるごとブランド」の概要を聞きたい。

「選ばれる理由」を言う

町長 ブランドとは、「選ばれる理由」であり、それを発掘・開発し、その魅力を伝えることによって、地域の活性化、産業振興、さらに経済の好循環を目指していくものである。競合する他の地域に打ち勝つために、広く町内外に小国町の良さを理解してもらい「選んでもらう」ことが「小国町まるごとブランド構想」の核心である。

第一弾として、農産品やその他の特産品など、今現在、本町にあるものを「白い森」ブランドの産品として売り出してい

きたい。首都圏をターゲットにした販売戦略の展開、町内の道の駅などを活用し試作品の発表や、ブランドビジョン発信拠点の整備を進める。

さらに、町民の安全安心な暮らしの実現に向けた防災、福祉、医療、介護に関わる事業や教育、子育てにかかる取り組みなどを相互に関連させ、「白い森の国おぐに」のブランドイメージ施策を進めていくことが「本構想」の考え方である。

白い森のロゴマークは

小林 「白い森」のロゴマーク（商標）が決定したと聞いている。活用について聞きたい。

意匠を決定した

町長 「白い森」の商標登録に向けた意匠を決定した。今後、商標を管理する仕組み、活用方法を定め、町内の皆様が幅広く使用できる仕組みづくりに努める。

町づくり
目標達成のため

小林 「総合戦略」の目標数値達成のために、町民との情報の共有化、意見の吸い上げ、推進体制の構築など、どのように取り組んでいくのか聞きたい。

情報の共有化を図る

町長 町民との情報の共有化は、まちづくりの根幹にある。町内の各階各層の方々と、できる限り情報共有の機会を創出するなど、発信方法を工夫していく。

町民意見の吸い上げ

町長 「町民の意見を聞くこと」が町政運営の柱の一つだと幹部職員に伝えている。広報広聴活動の充実が「小国創生」に不可欠である。情報の透明化を深めながら町民との情報交換を積極的に展開していく。

推進体制の構築

町長 町民と行政の協働に必要な仕組みであると認識している。町民が参加できるまちづくりを積極的に進めていく。一方、外部人材の活用も大切な視点である。町民各界、各層代表や外部有識者で構成する「小国町地域創生総合戦略推進懇談会」を設置し、随時、戦略の検証、見直しを図ることとしている。

「わかりやすい
予算書作成」を

小林 近郷の町でも「わかりやすい予算書」を作成し、透明性の高い情報提供により、町民参加の取り組みが見られる。来年度に向け指向すべきと考えるが、どうか。

来年度の実施を検討する

町長 法定の予算書とは別に、電子情報や別冊を作成し、住民に予算や事業内容を分かり易く伝える町が増えている。来年度の実施を検討する。



たくさんの人が関われる仕組みを



地域資源ブランド化戦略構築事業は、どのように進められているか

えん どう かず ひこ
遠 藤 和 彦 議員

地域資源ブランド化 戦略の構築調査 どう進める

遠藤 地域資源の魅力を

町内外に広く発信するため、統一したイメージによるブランド化を進め、認知向上を図るとともに、特産品等の販売拡大、イベント等の参加拡大、さらに小国の暮らしを素材とした交流促進の展開などを目的に、地域資源のブランド化戦略の構築に必要な調査研究を進めている。

地域資源を六つの分野に整理

町長 町の自然環境、天

然資源、歴史や文化、特産品として、どのようなものがあるかについての調査の他、町内の各種関係団体の代表者等に地域資源に係るヒアリングを行い、ブランド化の対象となりうる素材の洗い出しを行った結果、「農産物」「食品」「熊まつり

などの伝統文化」「つる

細工などの工芸品」「キ

ヤンプや釣りなどの自然

を活かした観光」「飯豊

連峰などの景観」の6分

野に整理されている。

商標登録の状況とどの

ような分野で登録を行う

かという調査を重ね、そ

のうえで「白い森」の意

匠に基づく登録手続きが

進められている。

登録手続きの状況には

現在、「飲料水」「米」「米

の加工品」「雑穀の加工品

などの分野については、

登録完了または手続き中、

「和牛」「地鶏の鶏肉」「地

鶏の鶏肉製品」「日本酒

などの分野について審査

中である。

遠藤 平成29年度の進め

方はどのように考えてい

るか。

企画財政主幹 来年度は

昨年度をベースに商標登

録をどのように活用す

るか、これに関わってい

る団体と連携をしながら

進めていきたい。

役場内にプロジェ クトチームを

遠藤 地域全体での取り

組みをするためには早い

時期に白い森プロジェクト

チームの立ち上げが必

要では。

町長 町民参加の町づく

りを私の選挙の中でも話

し進めて来たり、プロジ

エクトチームを作るのも

一つの案だと思う。

官民一体が大事

企業におけるブ

ランディングも取

り入れて

遠藤 町長が掲げる小国

まるごとブランド構想を

どのように活かしていく

か。道の駅を含めたスキ

ー場、ハーフパイプ等を

活かすには。

他との差別化を

図りながら

町長 地域資源ブランド

化構築事業に関わってい

ただいた関係者の皆様方

のつながりは、「小国町

まるごとブランド構想」

を実現していくための大

きな力となっていただけ

るものと考えられる。こ

のつながりや協働を基に、

「小国まるごとブランド

構想」実現に必要な仕組

みを構築し、総合的な観

点から「おぐに」を選ん

でもらうため、他との差

別化を図りながら、定住

と交流の輪を広げていく。

幅広い町民の方に話を

聞き進めていきたい。ハ

ーフパイプについてもオ

リンピック選手の平野歩

さんに意見を聞き、講習

会の出来る場所等の設置

も考えている。

官民が手を取り

合い進める地域

ブランドینگ

遠藤 地域ブランドイン

グの主役は小国町に暮ら

す一人ひとり、農業、商

産業、加工業、サービス

業、様々な立場の人たち

が同じブランドコンセプ

トを共有、各方面から地

域全体を盛り上げていく

ことが大切。職種の垣根

を越えたコミュニケーション

の場を設け、誰もが

気軽に参加できる機会を

官民一体となった取り組

みが大事。

品質のレベルアップを

町長 私も民間の出身で

いるいろなノウハウを持

っている企業もある。小

国ブランド化は、一つず

つ選ばれる品質のレベル

を上げて認証していき

たい。



白い森ブランドに期待

アクティブラーニング

●小中高のALとICT機器導入の学びについて ●小児科診療と病児保育・病後児保育について



間宮 尚江 議員

今後の本町の教育ビジョンは？

間宮 文部科学省から発表された2020年の大学入試改革に向けた答申では、初等教育、中等教育におけるALの果たす役割は、高大接続を視野に入れた学校教育が果たす責任の重要性を記している。

高校入試や小国高校存続に向けたALの果たす役割は、大きいものと考えられる。未来を担う子ども達の能動的学修へ参加する力の育成について本町の教育ビジョンを伺いたい。

小中高一貫教育白い森学習では、今後、ALの学びの体制をどのような施策で展開していくのか、更には、ICT機器導入による学習体制の現状と今後の施策も伺いたい。

白い森学習で先行的に取り組んできた

町長 本町においては「白い森学習」を位置づけ小中高の系統ある指導を行うことで、生きる力につながる学び方やものの考え方を育む「能動的学修」に先行し取り組んできたものと承知している。今後とも急速な情報通信技術の進展やグローバル化など変化の激しい社会を生きる子ども達に、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育むために、更なる教育環境の整備に取り組んでいきたい。

全教科でAL導入をしていく

教育長 今後更には、地域との連携強化により地域教育力と協働し学校運営を展開することでALを効果的に推進していく。また、ICT機器は重要なツールであるという認識から、平成26年度に作成したICT活用調査研究報告に基づき配備していきたい。本年十一月には山形県メディア教育研究大会が小国小中会場に開催される予定でもあり、探求型学習に繋がるICTを効果的に取り入れた日頃の成果を発表することとしている。



教諭を対象としたタブレット端末活用講習会

小児診療時間延長を

間宮 現在小国病院における小児科診療時間は15時までである。本町の地

理的状況を鑑みて特に冬場の状況下15時以降、町外小児科への搬送は大きな負担である。

安心して子育て出来る町づくりには小児科診療の充実が欠かせないものと考え。その不安を今後、どのように軽減していくのか伺いたい。併せて、他の自治体でも取り組みが活発化してきている病児保育・病後児保育は子育て世代には今後、重要な役割となっていくものと考え、本町における施策はあるのか伺いたい。

一次医療機関としての役割を果たすべく努力をしている

町長 8月就任後、各科の医師を派遣していただいている山形大学医学部部長、教授、山大付属病院長にお会いしてあいさつ回りを実施してきている。本町における町立病

院の重要性を訴え、医師派遣の継続性の確保をお願いしてきた。現段階では、小児科の診療時間の在り方については、今後の課題として受け止めさせていただく。

病児保育・病後児保育実現、子育て世代が安心して暮らせる町づくりを進める

町長 実施にあたり詳細な制度設計や運営方法の検討、受入れ施設の整備、医療機関への申請手続き等の課題を見据えて、先例を参考にしながら整理を進め、実現できるように取り組んでいく。

これは、県内の中小自治体病院としては先例的な事例になるため、内容については山形大学医学部にご理解をいただきながら実現できるようにしたい。

請願

採択

福島原発事故

避難者への

住宅無償提供

◎「福島原発事故避難者への住宅無償提供の継続」についての請願

《所 管》

総務厚生常任委員会

《請願者》

福島原発被災者フォロー

ム山形・福島

代表 武田 徹

原発事故被害者団体連絡会

共同代表

長谷川 健一

武藤 類子

《紹介議員》

石山 久美子

《請願の理由》

福島原発事故から5年

半を迎えた。

発令された「原子力緊

急事態宣言」は解除され

ておらず、事故終息の見通しも立っていない。また、現状、避難者が避難元

に安心して帰ることができる

までには、まだ時間がかかるものと思われ

る。さらに避難生活が長期化するにつれ、避難者

それぞれ事情により、問題が複雑化、多様化し

てきている。特に高齢者の体調面の心配が懸念さ

れる。

そのような中、平成29

年3月末日をもって、自主避難者の避難先住宅の無償提供を終了するこ

とが明らかとなったことに

対し、経済環境、教育環

境から、現在の住居に住

み続けたいとする声が多く寄せられている。

平成28年5月、「山形県開発推進協議会」は、

29年度の政府予算編成にあたり、「避難者に対

する民間借り上げ住宅の供与期間について、安心

して生活ができる環境が整い、恒久的な住宅へ円

滑に移行されるまで、適切な延長を行うこと」と

復興庁に提言した。

以上の理由から、次の請願が提出された。

○東日本大震災自主避難者への「住宅無償提供」の継続を求める意見書を

関係機関に提出すること。

継続

◎社会福祉事業を運営する

事業者の所有する軽車

両の減免を求める請願

《所 管》

総務厚生常任委員会

《請願者》

特定非営利活動法人

まんまる

施設長 本間 義信

《紹介議員》

石山 久美子

◎障がいのある方々が安全で安心して暮ら

していける小国町の宣

言と、議会議決を求め

る請願

《所 管》

総務厚生常任委員会

《請願者》

特定非営利活動法人

まんまる

施設長 本間 義信

《紹介議員》

石山 久美子

◎社会福祉事業を営む特

定非営利活動法人に対する土地、建物等の固定資産税の減免を求める請願

《所 管》

総務厚生常任委員会

《請願者》

特定非営利活動法人

まんまる

施設長 本間 義信

《紹介議員》

石山 久美子

◎「日常生活自立支援事業」利用者に対して小

国町からの支援を求め

る請願

《所 管》

総務厚生常任委員会

《請願者》

特定非営利活動法人

まんまる

施設長 本間 義信

《紹介議員》

石山 久美子

《審査の経過》

関係する法令を含めた

内容調査に時間を要する、

とし継続審査の議決とな

った。

請願とは

町政に関することとて、町議会に直接要望や意見がある時に活用する制度が請願および陳情です。

請願は憲法等に保障された「請願権」の趣旨に従い、国または地方公共団体の機関に対して、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるもので、議員の紹介が必要で

請願は、本会議に上程されて担当委員会に付託されます。担当委員会は、その請願を採択すべきか不採択とすべきかを審議しますが、状況によって継続となることもあり、また、その場合は、次の定例議会で再審査となります。

特集

シリーズ1 若者は今

若者が活躍する町づくり

Q

今、どう思う？

- 今の中高生が小国町に愛着を持てる仕組みを作ることで、活気を作る取り組みも繋がると思っています。
- 若い人達にスポットが当たらない過ぎるのが、地元離れのひとつの原因になっている。
- 一度、町外に出るのは良いと思う。一度集まった場所を選んでもらえるように、今から仕掛けをできないか。
- 小国町は、しきたりとか年配の方々の意見が強いので、若い人達の力が弱くなっている。

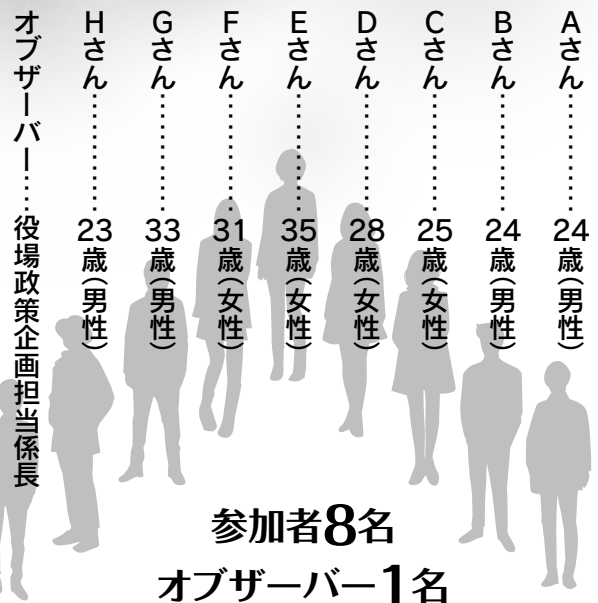
議会広報特別委員会では、
8月2日(火)総合センターで
「若者が活躍する町づくり」
討論会の第2弾を開催しました。

前回に比べて
新しいメンバーも加わり、
より具体的な意見交換が
行われました。

Q

町で不足なのは？

- よそから町を知ってもらうには、スポーツの大会ができる場所を整備すれば良いと思う。
- おぐにもんカフェも、知らない人がずいぶん多い。町内の人が町に対して知らないことが多い。
- 今年、横根などでキャンプをしたが、誰もお客さんが居なかった。小国町は、観光とかのアピールが全然できていない。



Q

宣伝方法は上手く行ってるか？

●小国町の中で良いことをやっていても知らない人達が多いので、タウン誌を作って、若い人達の活動をPRして行ったら良いのではないかと思う。

●小国のイベントチラシは、チラシとか広告というイメージなので、若い人が目を引いて、行きたいと思わせるデザインと宣伝の仕方が必要。

●町の広報は、結果の報告のみなので、興味が沸かない。

Q

町の特徴は？

●「若い衆」っていう言葉が嫌い。二十代にはとにかく遊ばせて、三十代になつてから地域の事を考えるようにさせればいい。

●私は、山間部のネット環境は、無ければ無くて、それでいいと思う。

●東京から来る親戚は、お盆には携帯持たなくていいので、静かで良いと言っている。

●町外へ出るのに40分位かかるっていうのも、山を分け入って偶然出会える町みたいな見方もできて、良く答えられる部分はあるんだと思う。

Q

あなたのアイデアは？

●町内にあつても車中心で、歩く人のためのベンチなどが無い。

●道路を造ったり、何かを誘致する事よりも、心の中のちっちゃな事から変化が生まれて来るのではないかと思う。

●誌やフリーペーパーが良いと思う。

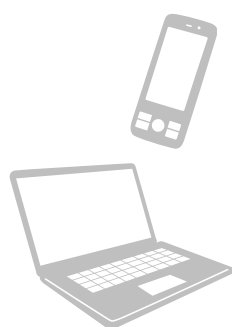
●小国の美人百選とかを載せるのもいい。

●新しい事をやる前に、既存のイベントに、「小国のため」ではなく、

●いろいろな思いで来る人達のために、楽しみの枝を作ってやらないと、どんどん離れて行くと思う。

●「オードリー・ヘップバーン」をモジって、「オーグニー・ヘップバーン」を妄想した時期がある。

●若い人にとって見たいと思うのは、そういう内容じゃないかな。大学の友達から、小国の男子はカッコイイと言われる。



●お知らせするきっかけは、フェイスブックを知らない人も居るので、タウン

後記

2度目の開催という事で、前回言いきりたことも積極的に発言してもらえた印象です。

目を見張ったことは、私(50代)たちが「若者」とくっついている30代が、もつと若い20代の事に心を寄せていることでした。

各年代がお互いを補いながら、この町に住む活力を引き出すことの大切さを痛感させられています。今後の開催へ向け、準備を進めていきます。

活動報告

高規格道路 早期建設を 求める



真剣に要望を伝えました



議会と行政が両輪となって取り組みます

「新潟山形南部連絡道路」の建設促進に向け、仁科小国町長のご同行をいただき、県選出の国會議員、関係機関等を訪問し要望活動を実施しました。国土交通省においては森昌文技監、石川雄一道路局長、増田博行官房審議官に面談し「小国道路」の早期建設について理解を求めました。

■ 期日

平成28年8月30日

■ 派遣議員

小国町議会議長

高野 健人

小国町議会副議長

安部 春美

小国町議会

文教産建常任委員長

遠藤 和彦

■ 同行者

小国町長

仁科 洋一

■ 要望先

東京都千代田区霞が関

国土交通本省、県選出

国會議員、全国道路利

用者会議、他

● 要望書 ●

新潟山形南部連絡道路は、東北中央自動車道と日本海東北自動車道をつなぎ、政令指定都市である太平洋側の仙台市と日本海側の新潟市を結ぶ最短ルート上にある重要な路線であります。

当路線は、本町の中核企業の製造品や農林畜産物などの生産・販売に大きく寄与することが期待されており、本町と他地域の産業・文化等の交流連携や新たな経済圏の創出を促進するうえでも不可欠な路線であります。

また、現在の国道113号は迂回路がないため、大雨による土砂崩れ、あるいは雪崩等の自然災害による通行止めが発生した場合、町全体が孤立してしまうなど、沿線地域の住民生活に大きな影響を与えかねません。

東日本大震災以後、太平洋側と日本海側を横断的に結ぶ「横軸」の幹線道路整備の重要性が再認識されておりますが、国道113号は、救急救命医療や避難、あるいは被災地への物資輸送等の経路として、まさに「いのちの道」としての機能を果たしております。大震災の教訓を踏まえ、災害に強い道路ネットワークの整備が急務となっております。

平成27年3月に、社会資本整備審査会東北・北陸地方合同小委員会が開催され、「小国道路」が計画段階評価に着手されましたが、安全で安心できる国土づくりのために、また、安倍内閣が掲げる「地方創生」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にとって必要なインフラとして、新潟山形南部連絡道路は最重要路線であります。

つきましては、沿線住民の長年の強い願いであります新潟山形南部連絡道路全線の整備促進とともに、次のことについて強く要望するものであります。

- 一 小国道路（山形県小国町市街地～新潟県関川村金丸）の早期着工（L=約12km）
- 一 十分な道路財源の確保と立ち遅れている地方の道路整備に対する重点的な投資

8月14日(日)

**～第68回小国町
成人式出席～**

**未来を担う若者のみなさん!!
"おめでとうございます"**



西置賜行政組合

8月4日(木)・5日(金)
視察先 足利市・筑波市

防災 関連でした!

今	康成	議員
間宮	尚江	議員
石山	久美子	議員

8月22日(日)

**～第25回小国町
サマースポーツ大会
出席～**



**置賜広域
行政事務組合**

**川西町玉庭の
「死亡へい獣処理場」を
来年3月閉鎖
8月議会にて
報告を受ける**

高野	健人	議員
安部	春美	議員
遠藤	和彦	議員

おらも おぐに町民

町の人から
ちょっとひとこと



プロフィール

氏名 今 優葵乃
年齢 14歳
学校 小国中学校
住所 舟渡 2年生

堂々とした
笛吹きで
ステキでしたよ!!

Q「舟渡獅子踊り保存会」に所属しているのですか？

所属というよりも、年毎に開催されているお祭りの一つとして昨年の盆踊りで太鼓打ちをさせてもらいました。

Qそれが、きつかけかな？

はい、楽しそうでやってみたいと思い舟渡獅子踊りの「笛」に入りました。

Qどれくらい練習したのですか？

土日無しの、三週間前から練習するのですが、毎日の参加はできなくて、四、五回の参加でした。そのかわり家で一人での練習を重ねました。

Q初デビューの日の感想は？

舟渡の伝統なので、楽しみながら出来たらいいなと思っていました。

Q無形文化財の舞いに携わってみて、どんな気持ちでしたか？

舟渡の文化財「お獅子」と一緒に時間を過ごせて、すごく貴重な体験ができたと思いました。

Q今、周りの人たちに伝えたこと何かありませんか？

地域毎に古くから伝わる伝統は、大切にしていってほしいと思います。

Q最後に、二年後の舟渡獅子踊りに向けての目標は？

練習の時、お獅子の踊りを見ていて少し覚ええました。ちよつとお獅子もやってみたい気持ちがあります。
お天気にも恵まれてよかったですね。インタビュアーありがとうございました。

～2年に1度 9月の第二日曜日に 沖庭権現に奉納されます～



次の定例会は12月です。ぜひ傍聴においでください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局 (62) 2448

編集後記

9月定例会では、27年度事業の審査を行った。所管課の説明を受けながら、膨大な事業の一つ一つが町を動かしていたことを改めて確認した。大切な財源を十分に生かした事業であったかについては、すぐに成果はでないかもしれないが、町民が期待をしている「町づくり」のための予算執行であることを職員は意識して、事業を行ってほしい。何を得られたか、課題は何かを考え、町民と同じ目線で、説明を心がけていただきたい。すでに28年10月を過ぎている。

今年もあと少し。

石山(記)

発行責任者

議長 高野 健人

議会広報特別委員会

委員長 小関 和好
副委員長 今 康成
委員 石山久美子
間宮 尚江